

国産木材活用住宅ラベル表示に関するガイドライン

このガイドラインは、国産木材活用住宅ラベルの表示について遵守すべき事項を定めるものとする。

1. ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインでは、表示の対象とする住宅は住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成 11 年法律第 81 号）第 2 条第 1 項に規定する「住宅」とし、住宅を建築する事業者は、自らの発意及び責任において、自らが建築する住宅について、2 の表示事項を、3 の表示内容に則り、4 の表示方法により表示する場合の統一的なルールを定めることとする。

2. 表示事項

表示を行う事項は次のとおりとする。ただし、③から⑥の事項の表示は任意とする。

- ① 国産木材活用レベル
- ② スギの使用量（花粉症対策）
- ③ キャッチフレーズ
- ④ 住宅の炭素貯蔵量
- ⑤ 活用する木材に係るその他の情報
- ⑥ 建物名称
- ⑦ 住宅生産者名
- ⑧ 表示年月日

3. 表示内容

2 の表示事項に係る表示内容は、それぞれ次の内容を記載することとする。

- ① 国産木材活用レベル 表示をしようとする住宅の国産木材使用量※1,2 に応じて、★のマークによる 3 段階のレベルを記載する。3 段階のレベルと各レベルの国産木材使用量の水準は、次による。なお、各レベルの水準は、平均的な木造戸建住宅に使用される木材使用量に占める国産木材使用量の割合が、それぞれ 3 割以上 5 割未満、5 割以上 7 割未満、7 割以上に相当するものとして設定している。

レベル 1（★☆☆）：単位床面積当たりの国産木材使用量（ m^3/m^2 ）が 0.057 以上
0.096 未満

レベル 2（★★☆）：単位床面積当たりの国産木材使用量（ m^3/m^2 ）が 0.096 以上
0.134 未満

レベル 3（★★★）：単位床面積当たりの国産木材使用量（ m^3/m^2 ）が 0.134 以上

- ② スギの使用量（花粉症対策） 表示をしようとする住宅のスギ材※3 の使用量を次

の原単位により本数に換算し記載する（端数切り上げ）。ただし、当該材の使用がない場合は記載することを要しない。

スギ材：4.4本/m³

なお、併せてヒノキ材の使用量を次の原単位により本数に換算し記載することができる（端数切り上げ）。

ヒノキ材：5.9本/m³

- ③ キャッチフレーズ ①国産木材活用レベルが2又は3の場合、国産木材を多く活用している住宅であることを示すキャッチフレーズを記載することができる。なお、①国産木材活用レベルが2又は3であって、かつ、国産木材使用量に占める特定の地域産材使用量（キャッチフレーズに記載したいものに限る。当該地域産木材が複数ある場合にあつては、その合計。）※4の割合が5割以上の場合には、当該地域産木材の名称又は樹種名を用いたキャッチフレーズとすることができる。
- ④ 住宅の炭素貯蔵量 表示しようとする住宅に活用した木材に係る炭素貯蔵量を、「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン（令和3年10月1日 3林政産第85号）」に則り算定し、記載することができる。この場合、当該炭素貯蔵量を算定した木材（国産木材使用量又は木材使用量）の別を併せて記載することとする。
- ⑤ 活用する木材に係るその他の情報 表示しようとする住宅に活用する木材に係る①～④以外の情報を記載することができる。例えば、第三者機関により認証された森林から産出された木材（外国産材を含む。）で認証を受けたものである場合等は、木材使用量※5に占める当該木材の割合等使用の程度と併せて当該木材を活用している旨を記載することができる。なお、この場合等において、認証等を受けた旨表示する際の定めが別途ある場合にあつては、当該定めに従い表示しなければならない。
- ⑥ 建物名称 表示をした物件名を記載することができる。
- ⑦ 住宅生産者名 住宅を建設した者を記載する。
- ⑧ 表示年月日 表示をした年月日を記載する。

※1：完成した住宅（附属する外構の工作物を含む。）に使用されている国産木材の量（住宅の標準仕様を定めている場合にあつては、当該標準仕様を基に推計した国産木材の量とすることも可能。）とし、仮設用資材やコンクリート型枠用合板などの建築物の完成までに撤去されるもの及び地盤改良用資材等に用いたものは含まない。

※2：集成材、CLT（直交集成板）、合板等のうち異なる樹種からなり国産木材と外国産木材が含まれるものについては、例えば、国産木材が用いられている層又はプライの数の比率から算出するなどにより、国産木材使用量を樹種別に把握し、計算するものとする。また、木質ボードについては、全部又は一部が国

産木材由来であることが確認でき、その国産木材比率が把握できるものは、全体の量に国産木材比率を乗ずることにより国産木材使用量とすることができ
る。(別紙参照)

※3: ※1, 2 を準用する。この場合において、※1, 2 中「国産木材」とあるのは「ス
ギ材又はヒノキ材」と、※2 中「外国産木材」とあるのは「スギ材又はヒノキ
材以外の木材」と読み替える。

※4: ※1, 2 を準用する。この場合において、※1, 2 中「国産木材」とあるのは「地
域産木材」と、※2 中「外国産木材」とあるのは「地域産木材以外の材」と読
み替える。

※5: ※1 を準用する。この場合において、※1 中「国産木材」とあるのは、「木材」
と読み替える。

4. 表示方法

2の表示事項を表示するに当たっては、次の方法によることとする。

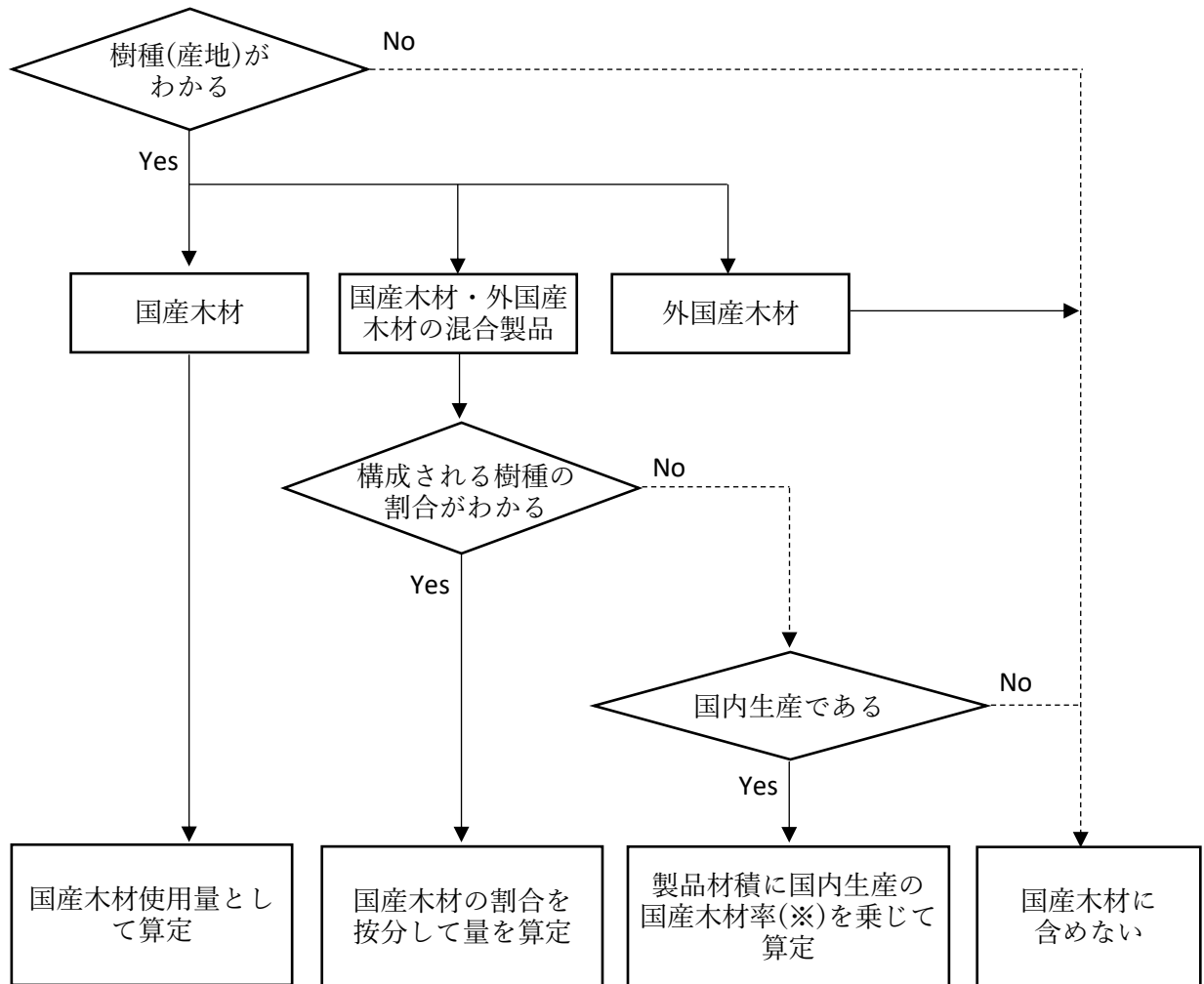
- ① 2の表示事項は、別記様式に定めるレベル1、レベル2又はレベル3のデザイン、
ラベルのデザイン、指定する色及びフォントを用いて表示すること。なお、2の④
を表示する場合、「Wood Carbon Label」のデザインを用いて表示することができる。
- ② 2の表示事項を記したラベルは、住宅本体に貼付け等し又は広告、宣伝用物品、ウ
ェブページ等に表示し、及び見やすい箇所に表示することが考えられる。なお、広
告、宣伝用物品、ウェブページ等に掲載する住宅が標準仕様によるものである場合
にあつては、当該標準仕様の国産木材使用レベル等を記載したラベルを表示するこ
とができる。
- ③ 表示をしようとする住宅の表示事項が、標準仕様を基に推計された場合にあつては、
その旨をラベルに付記するとともに、当該標準仕様の概要及び推計による算出方法
等の情報を宣伝用物品等に記載する等、消費者が当該情報を取得しやすい状態にし
ておくこと。

5. 表示ラベルデータの遵守事項

次に掲げる事項を遵守すること。

- ① 表示ラベルデータの内容について、修正・加工を行なわないこと。
- ② 表示ラベルデータの内容について、部分的な使用を行なわないこと。
- ③ 表示ラベルデータの仕様による色、縦横比、形状を変更しないこと。

異樹種混合材における国産木材量の算定の考え方



※国内生産の国産木材率
 集成材：45%、合板：88%、CLT：100%、LVL：95%
 木材チップを原料とした木質ボード:国産木材に含めない
 出典：令和4年木材統計（農林水産省）（各製品として国内で消費されたラミナ（合板及びLVLにあつては単板）の量に占める国産材の割合）

なお、「②スギの使用量（花粉症対策）」の表示に当たり、スギ又はヒノキの量が不明の場合は、国産木材の量に以下の割合を乗じることで、スギ又はヒノキの量を算定することができる。

	スギ	ヒノキ
集成材・CLTの場合	69%	16%
合板・LVLの場合	59%	13%

出典：令和4年木材統計（農林水産省）（製材用（集成材・CLT）又は合板等用（合板・LVL）の素材生産量に占めるスギ又はヒノキの割合）

別記様式

○レベル1のデザイン



○レベル2のデザイン



○レベル3のデザイン



○「Wood Carbon Label」のデザイン



○ ラベルのデザイン（全事項の表示タイプ）

国産木材活用住宅レベル

Japan Wood Label のデザイン



JAPAN WOOD LABEL

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

〇〇産材の家 2③ キャッチフレーズ

国産木材活用レベル	スギの使用量
<p>2① 国産木材活用レベル Level</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">3</div>	<p>2② スギの使用量</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">約〇〇本分</p>



2④ 住宅の炭素貯蔵量

住宅の炭素貯蔵量
(二酸化炭素換算)

木材の使用により、次の量の炭素を貯蔵しています。

木材全体の貯蔵量 〇〇t-CO₂

国産木材のみの貯蔵量 〇〇t-CO₂

備考： 2⑤ 活用する木材に係るその他の情報

本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用しています。



木や森林に関する
取り組みについてはこちら



木材の炭素貯蔵
についてはこちら

建物名称：〇〇邸 / 住宅生産者名：〇〇工務店 2⑥ 建物名称
表示年月日：2024.〇.〇 2⑦ 住宅生産者名
2⑧ 表示年月日

国産木材活用住宅レベル協議会の
ガイドラインに基づき表示

○ ラベルのデザイン（必須事項の表示タイプ）

国産木材活用住宅ラベル

Japan Wood Label のデザイン



カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

国産木材活用レベル	スギの使用量
<p>2① 国産木材活用レベル</p> <p>Level</p> <p>(1)</p> <p>☆☆☆</p>	<p>2② スギの使用量</p> <p>約○○本分</p>

建 物 名 称：○○邸
住宅生産者名：○○工務店 2⑦ 住宅生産者名 国産木材活用住宅ラベル協議会の
表示年月日：2024.○○ 2⑧ 表示年月日 ガイドラインに基づき表示

○色指定

背景色は原則として白又はラベルの視認性、可読性を損なわない程度の淡色とすること。
ラベルに用いる色は、黒又は以下のカラーコードを用いることを推奨。

DIC 指定	CMYK 指定	RGB 指定
387s	C:80%, M:30%, Y:80%, K30%	R:55%, G:107%, B:71%

○フォント指定

次のフォントを用いること。

英文字及び数字：Arial、和文：游ゴシック又は Noto Sans JP